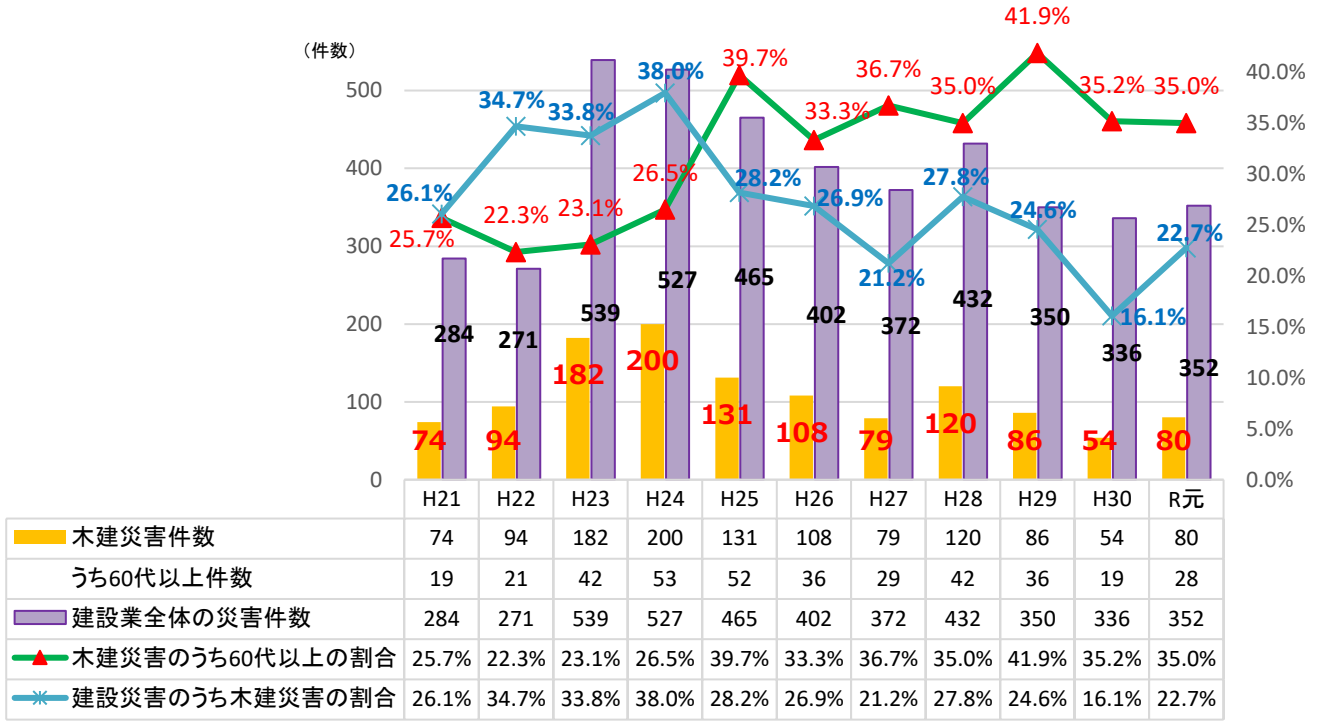


木造家屋建築工事業の労働災害分析（宮城労働局管内休業4日以上）

R2.7.1

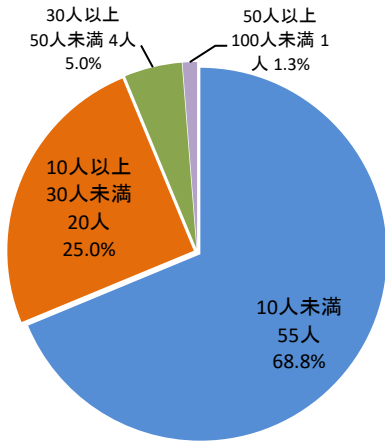
年別推移【平成21年～令和元年】



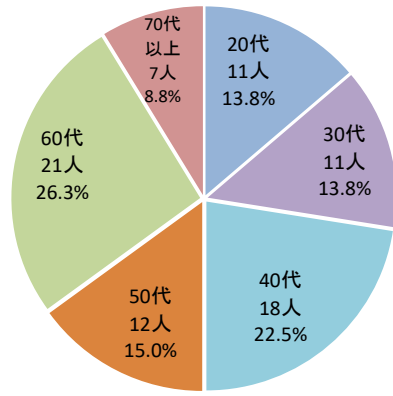
・建設業全体の労働災害は、東日本大震災以降、減少傾向にある。
 ・木造家屋建築工事業（以下、「木建」とする。）の労働災害の傾向は、建設業全体の傾向に連動しており、平成25年以降はおおむね建設における災害全体の20%～30%で推移している。
 ・木建災害の労働災害は減少傾向にあるものの、60代以上の高齢労働者の災害の占める割合は横ばいで推移している。

労働災害発生状況（平成31年1月～令和元年12月木造家屋建築工事業80件の分析）

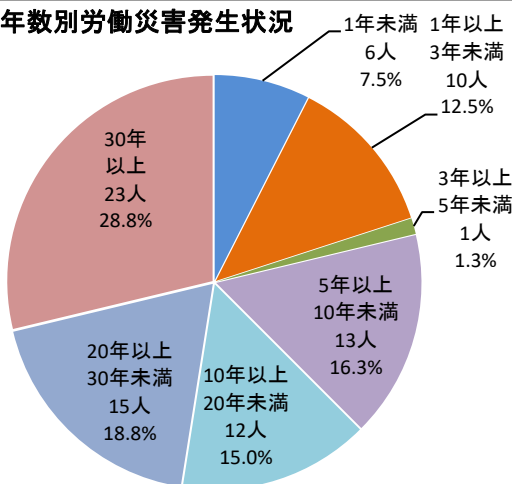
1. 労働者数別労働災害発生状況



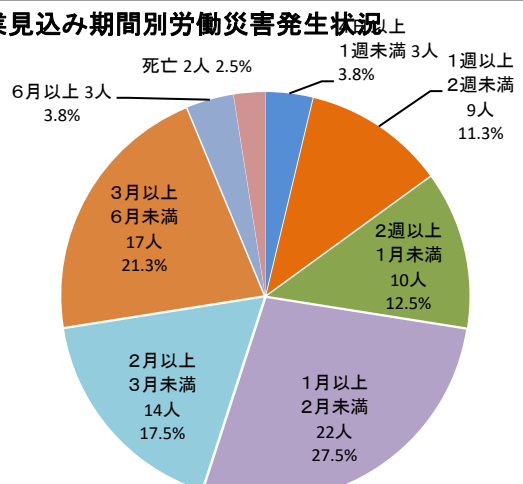
2. 年代別労働災害発生状況



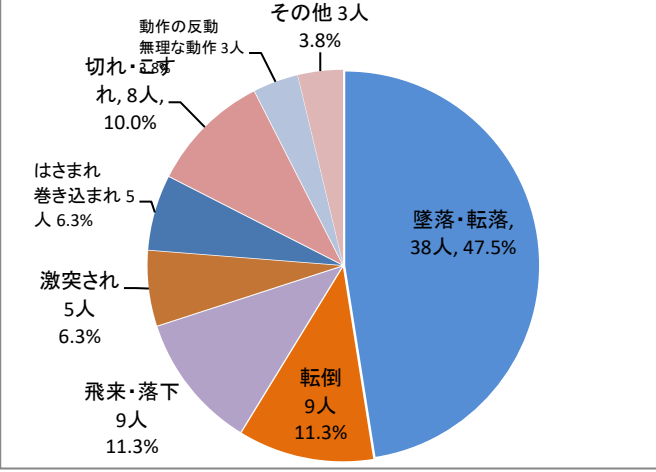
3. 経験年数別労働災害発生状況



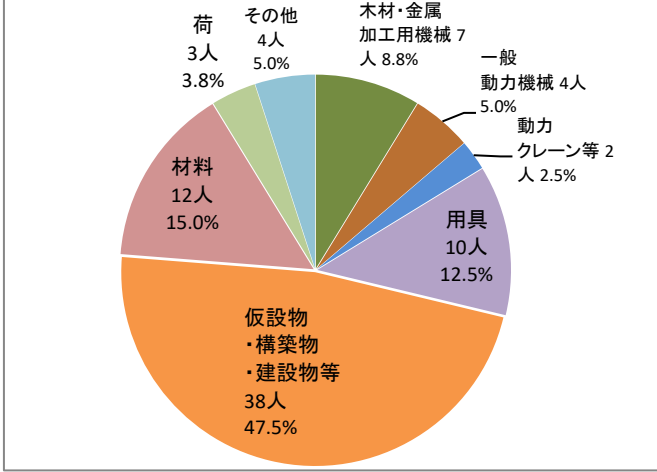
4. 休業見込み期間別労働災害発生状況



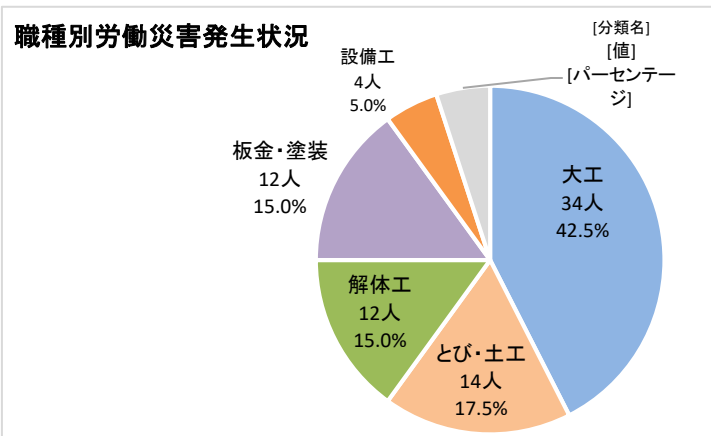
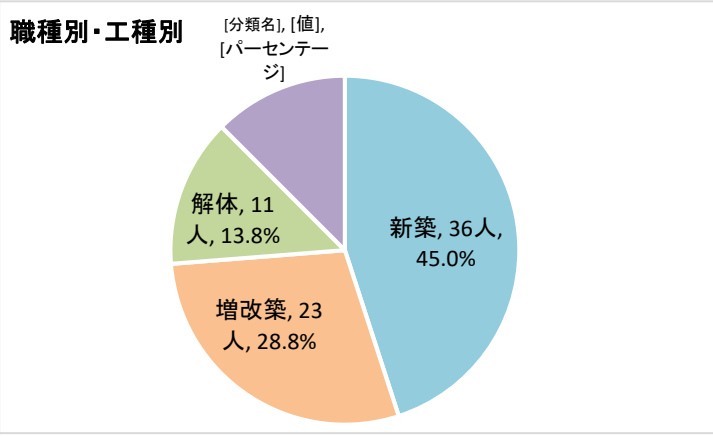
5. 事故の型別労働災害発生状況



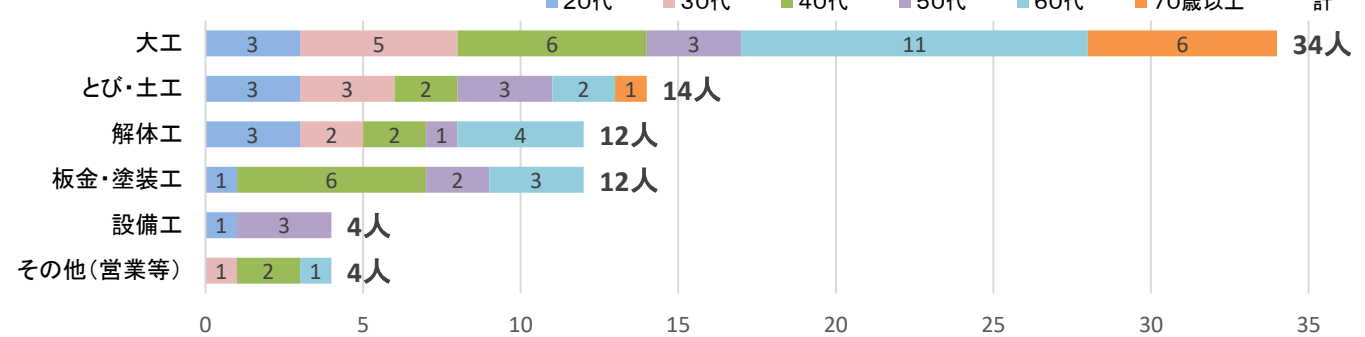
6. 起因物別労働災害発生状況



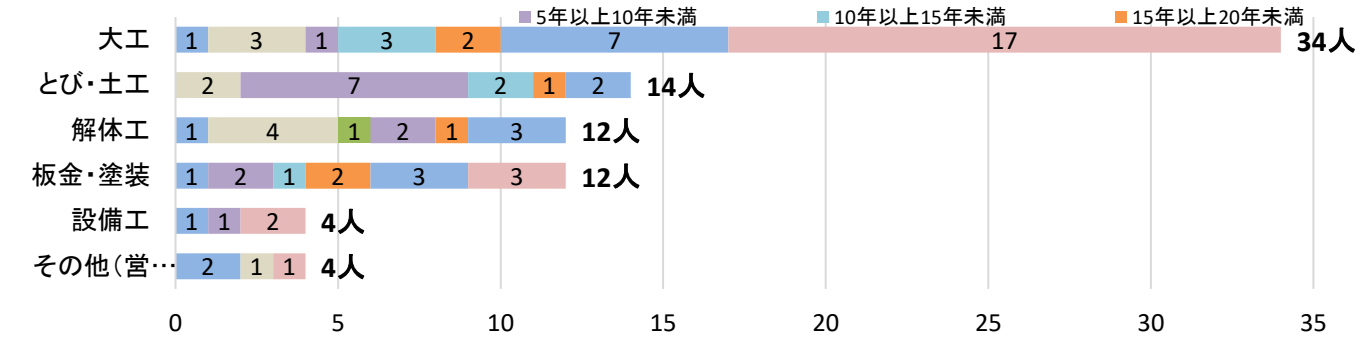
職種別の詳細 (平成31年1月～令和元年12月木造家屋建築工事業80件の分析)



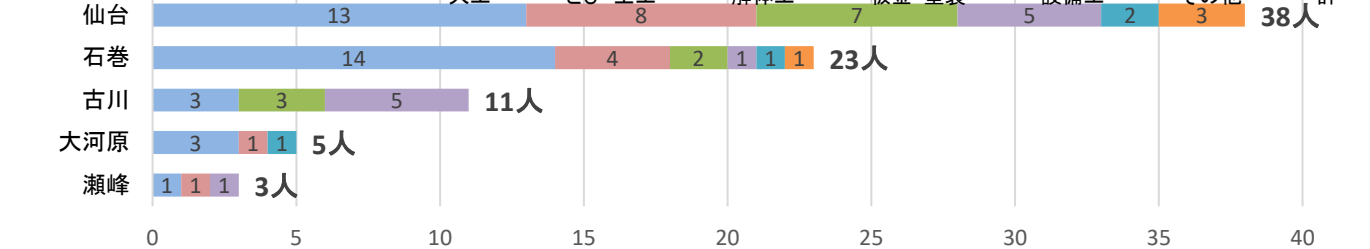
職種別・年代別



職種別・経験年数別

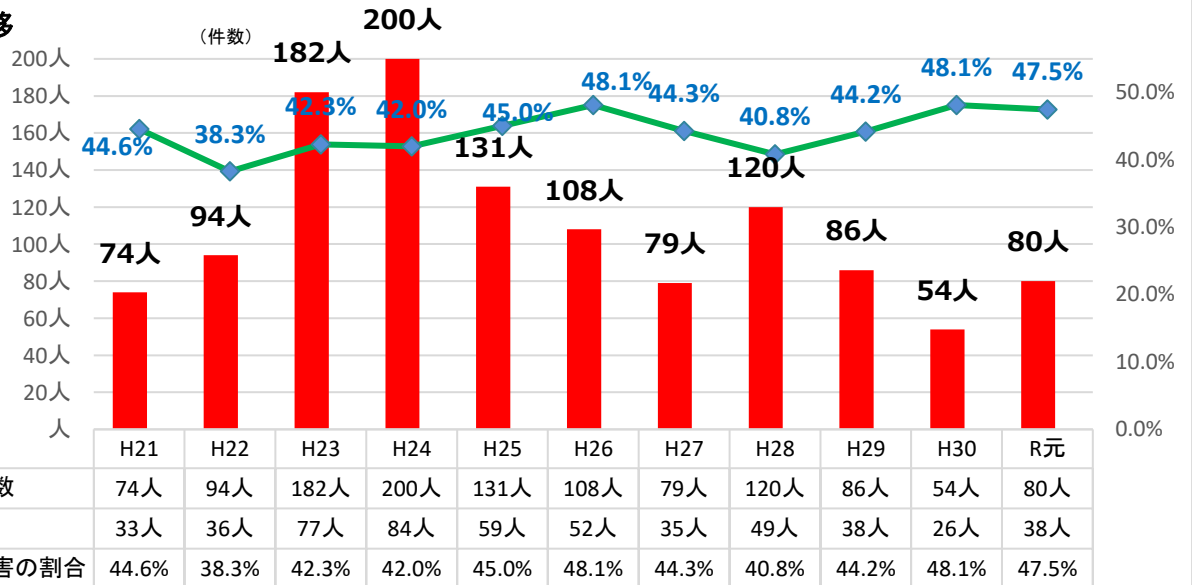


職種別・署別

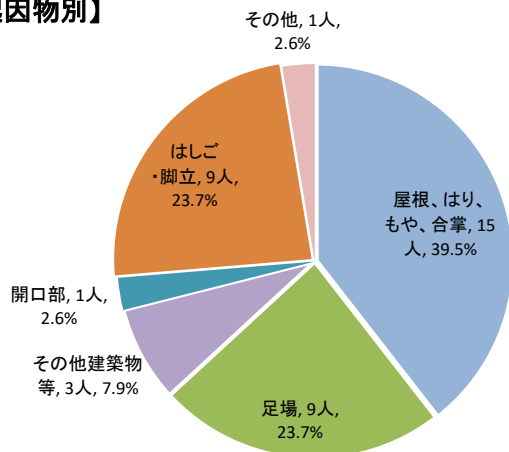


墜落・転落災害の詳細（平成31年1月～令和元年12月木造家屋建築工事業38件の分析）

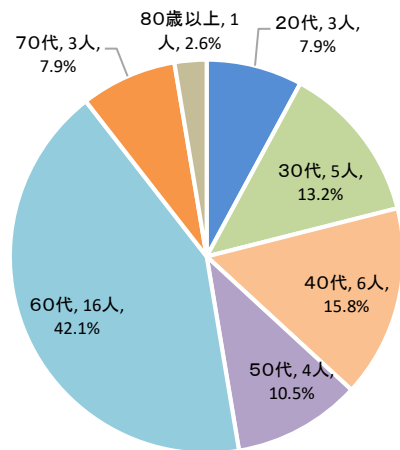
年別推移



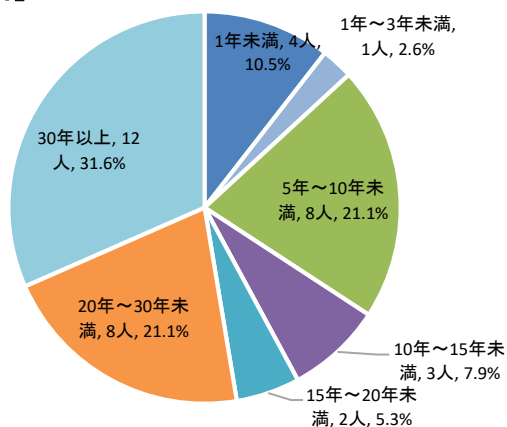
墜落・転落【起因物別】



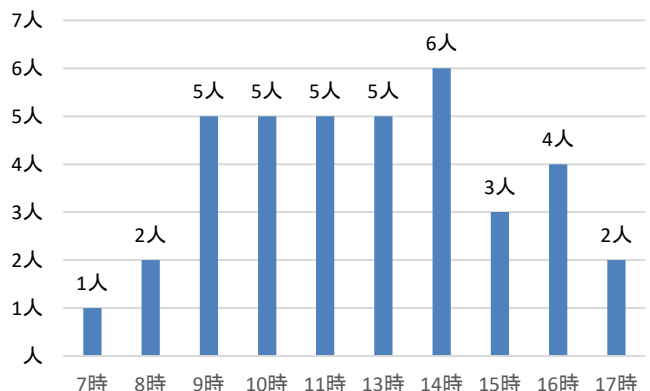
墜落・転落【年代別】



墜落・転落【経験年数別】



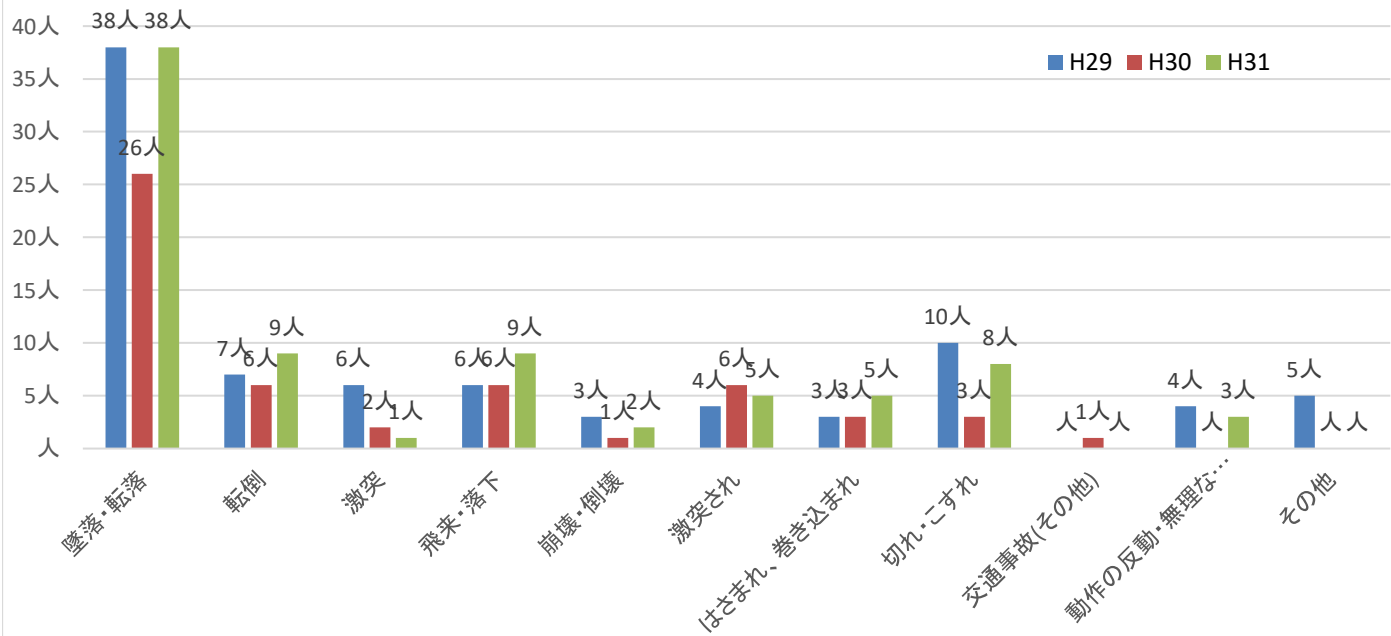
墜落・転落【時間帯別】



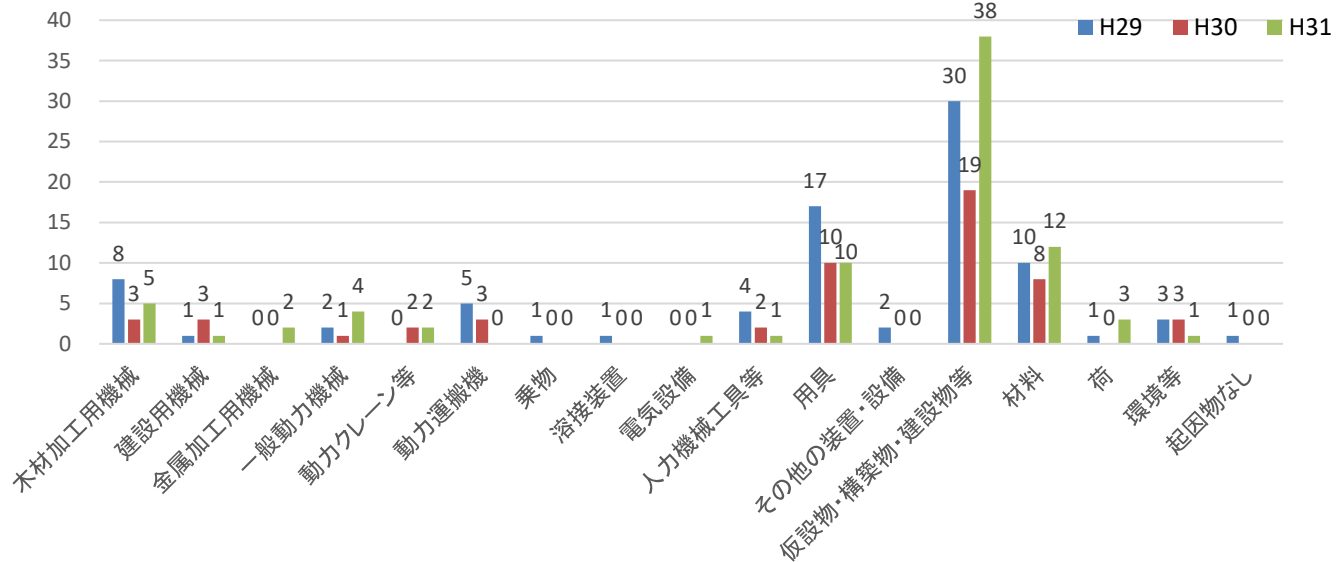
墜落・転落災害【経験年数別・年代別】

経験期間	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	総計
1年未満		1人	2人	1人				4人
1年以上3年未満		1人						1人
5年以上10年未満	3人	2人		2人		1人		8人
10年以上15年未満		1人			2人			3人
15年以上20年未満			1人		1人			2人
20年以上30年未満			3人		4人	1人		8人
30年以上				1人	9人	1人	1人	12人
総計	3人	5人	6人	4人	16人	3人	1人	38人

事故型別29年－31年比較 (総件数H29:86件、H30:54件、H31:80件)



起因物別29年－31年比較 (総件数H29:86件、H30:54件、H31:80件)



月別29年－31年比較 (総件数 H29:86件、H30:54件、H31:80件)

